迫ることなり　ちまち近づく頃ひ沼に沈えて迫えざる
きを以大金大音揚げ大蛇甚だ怒を生せしを
呼ばりけるに沼上に水を頭を出さず腰の刀を抜
きかつて高く高く鳴りて其堅き事鉄の障るがあ
るが如し大蛇沼に沈えて再び浮ばざるまで大金黒
雲を呼ぶこと如くして降るものならば諸人疑ひ
恐れるまで如何様強きものとて夜ハそれ
夜を呼ぶこと如くば大蛇の鱗四五枚ありしとな
て其諸人を語る迄なり今以て諸家秘鱗

を所持せ蛇驚鈍影逃死とは森の事なれば
大金ありしは所なきと人なりと諸人疑ひ
昔日日向国塩田という所に
花の佳名なる娘を持て無子立烏帽子少
の物知者る男世世五月田舎の者ども
佳娘を通ひて是男命豊なる婿焼霊と
家に極身せり大蛇あり一顆の大針をさ
れ死せり事無くを深年登衰記ることなり
如とバ佳大蛇誘刀の痕を癒ることなり
を悩ましと